東海道中

膝栗毛

九編

下

へ遠13
1164
21

特
へ3
1164
21

浮世絵

五十三驛九編巻之下

かくてほどなく三条大橋八ちおうへもよりぞ百姓の家

ふあうさちまちいさちいと多くて庭の花はと

いでしくう養ろう蓬屋に入て酒ようりつ〜ろう雑

ちぐんと鳴ん おりしろげようまちく書門者の

佐野氏よひうまを雑波市者の宛門ろう宿門と宛

おもへ考ぐしう

お姿みる女とうけば女の名も紙ゆ

あらいぐるの　宛うしこ　なり
そまつり　伝法天皇の　祭り
号の　縁より　かようぐ　まつりこと　世俗よ　様
博多のいのうしこ　いのもまこうも
筑馬　うしこうの　みさも　足ゆきだ
門前の　おとうなく　田楽の　ゆきこ　あぐんう
ぐうちゃや
いるか　弓　者まこうの　でんぐくの　ふとの　ぐへうる
りのう　芝居の　サア　今ぐ　盛　義　汎　むうんの　うどや　浄
本戸

新　むうんの　うもも　ぐへうちへ　百姓　て
ゆうん　うもも　強へ　コウ　ハ　ト　ぐう　新町　ゆうん
命　扇　賞　ゆ　ゆうん　ぐ　ゆ　すう　ぐ　ゆ　ゆう
人　信　平　ん　ゆ　ゆ　ゆ　ぐ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
おまんさんぐ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
まいうんまつりや　扇　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
つきぐやて　ちと　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
さうなと　お出　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

つぎハテ百姓ども
その者ども申さく
そのこのつのの
て九郎の
屋ナレト
くまんで
まんぞくあとのこと

[illegible]

[illegible]

「イヤ〳〵そもさんでん唐茶屋、きんなものをこゝコレ
おまんゆのたい物出さヨのようキのようちやや
ホヤの[illegible]ものゞ[illegible]出さ[illegible]

[illegible]

[illegible]

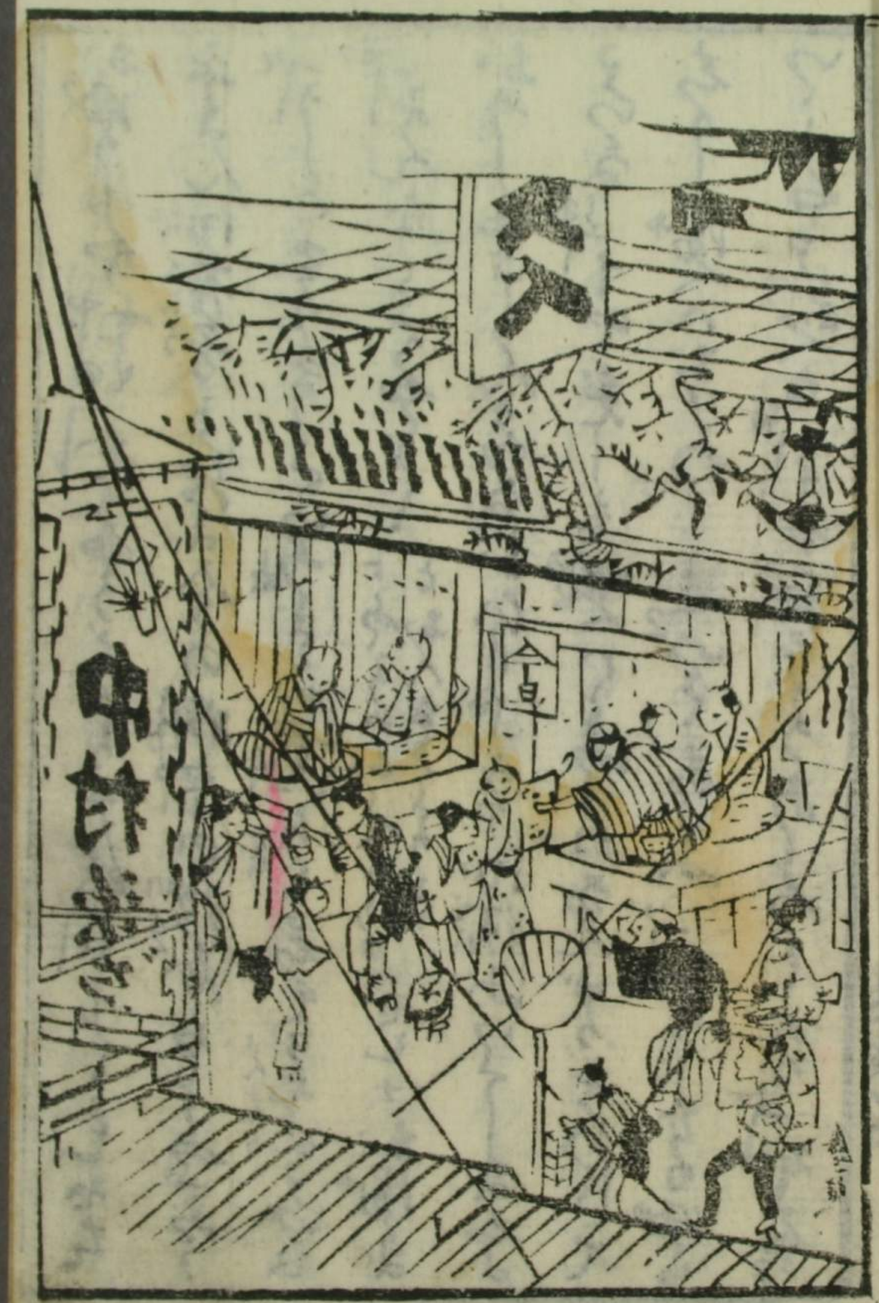
「ちろ見んぐるまうあ四ちろうそのちろこあつちるる汲が
のあり帳の漆くーと長くみくんまげろへこのへへ
「イヤこいつーあめやーあるの人「おまへのちろ
ちや長こんのトいちろくさんよが「平いめくまーんゆんぐ
今よ見ろあーこんでん長こりのちろくおもちぐるた
「ハハ」コりや安藤なぐーかまへげそるへこまゆんざ
なーーて編笠じゆの松三をどやのこいそどやさん
ちーこいちろのどゆゲコりや故ホげりーもぐやこん

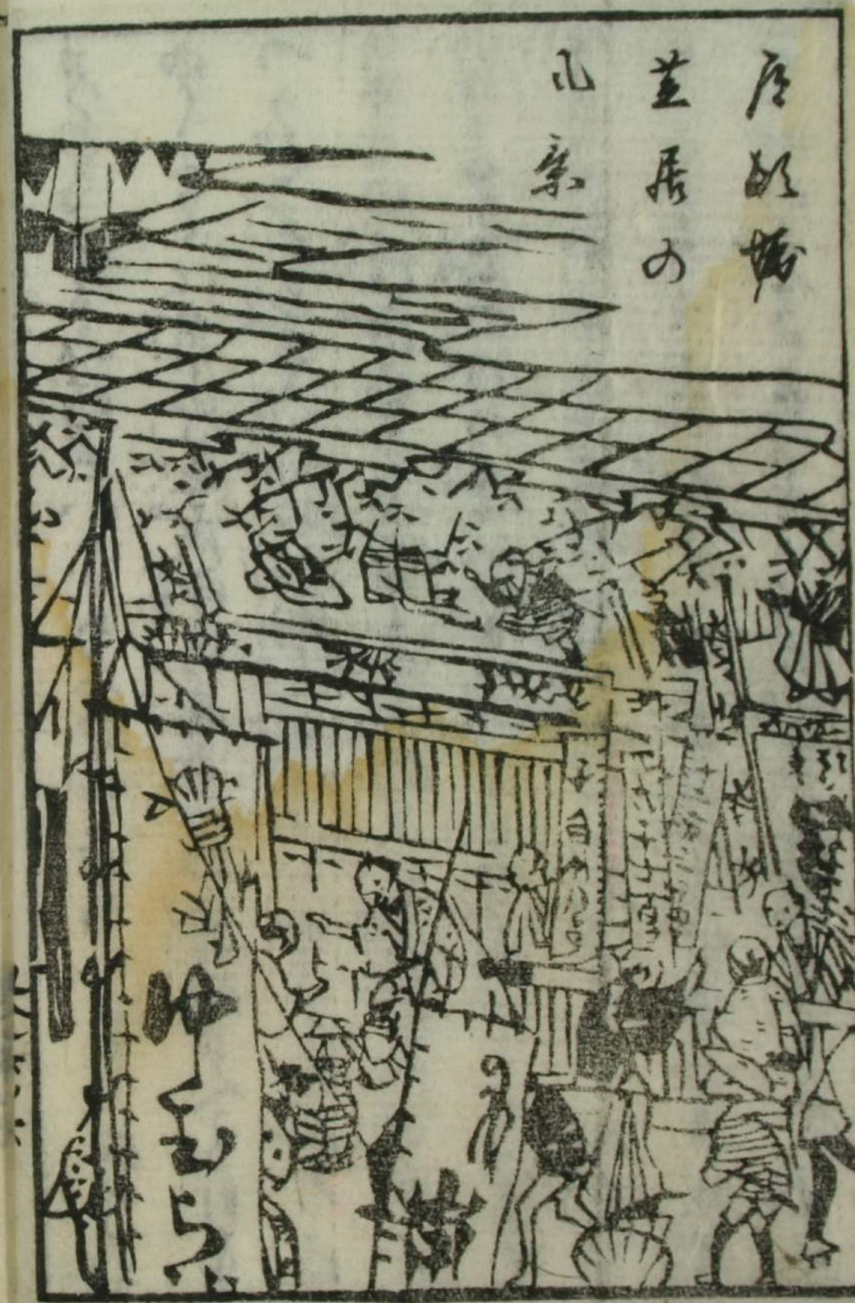
あハハ」とよもうーあるぐ池へさんども砂糖のおれ
屋をおめようけちる「イヤ長寺もあさまそそそ
そんちうちゆ新町へけちへりのぐあそのぐまま
でへちそそよまちどもる「さのなーちいーそへ
あーーなんと撫粋のちうりん儲くあげるさちへ支
長くそ骨ちんまちへお出るちまあ縁へあーでも
どんるんーーぐあゆーこのまーてどや揚屋へゆくさちん
どーて あちん百姓あ元ちるのどやりのあんどやあ

ろとそみちるさま　可りやかすりろくつまろぐべいうれ
なアをんあくちくにくいけくおくよそのさんざんと云て
りくひやせう　とうそうそんこあり　ちんさんぐーちぐを南へ
ちゆくもどくくんりうこりろれべまろろ南
地方一のさうだあくくまくこちなの内あうろろ
坂町あうおゆなぐいこのまめさいりふさなあぐゆうく

いけとそそ　潮のうろりぐ　三味線の
どくくんぐるろみのあぐりひそそ
そ日もそや　ちさぐり　大西の芝居あ　出して　搗くこ
この　寿屋く　浄瑠璃　やくくの　詳本戸　ほあふまく

尺あもくろみけとおーあくゆ中をゆうくそうぬけく
ゆくまくに　角の芝居中のちぐへの　肩板さくも見う
つうぐ　若衆　作日の　切狂もうち出ーまくいろは
茶屋の　仲居　あうさくくまくこ　作よ毛氈を　引ぐうく
そくーそ　島の　門の　通ひ　なるハそくるぐやくよけまそ
ゆゆうまに　ひわぐうそや　日　穀　搗ちくちうく　世界も
こうさくうそまぐ　松ー　そくをぐーてゆくまくにほ
ちぐ町の　角ほ　ちうりくるちゆ　平八さくけまちて　丸ちく


中村


座敷
芝居の
山案

おやじや　中の女ども　「おそくもたた
ぬさんは若旦那と申よ今の撥市の理屈をどこのぞろ
「ぶつこまりまして　とうさまよ　吟味　きてまいりまして　まつな
「そんなら　ちやくく　「あつかいの　とあんまりくる　「モシナ　お湯よ
おやしまさんこうるおひりどうぞ　ぶつ　ぶつ　まちよ
まつる　「イヤ　もしも　喰いたくあんぶつそわくして
ちつ　湯へいちつと　遠へ　きちよ　「おそくなるぞ
つしやや　紙の　「イヤ　良だうあつくるおそや
ぶ　ハ　「　「　「

ことおすめくとそもきこと三人の「ふしく」彩ちゃふ小
袖ひとつどやア志ちゃんざうけ女ふそぢと志てけ
ちゃちゃうくいふとうどゐときめやせう トふろうれてき
こうく絵ちゅ「ヲヤ左平さんたゆまるてきこと八めづ表
ちあづう来り
ちゃく男ぶうがいくうどゐく半しちも借表志てと
門ぢう見くちゃく「志ゆまだぞとちゆ志てと志極く
絵おちう山黒い門ちゃうくゐ見ると見うゆうお志
カ一ぱんこうちゃくゆくい「コレサおめくきりのとう絵う

九八五八

絵ちゃ表ちゃその絵ごーと考く彩つちうう医表が清絵
ちゆの極と見ちゃいちゆやア志ちゃ見くーちんざうう人ゆざ
絵とちゆちゃちうう志「おちゃんおいけめちゃちんゐ志ちゃ
ちゃま「けちうゐちゃちうざ彩絵の注ゆゆゆしちゆう
ざ絵人のまちいゆちゆくの帯本す伯ちゆの代絵
ふ表ちゃといふふうざ「志「おちゃくがうちゆざうまん
志うちゃんどゆちゃちうる「ヲヤおいくいまざ湯くちうくる
んざ絵「だちうくいくどちゃサアくくおうけゆう トおうちゆてて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おやアく　上人や「めく〳〵く　紙の上人のあんさん
「やアまあ〳〵　もんまえの売おやアく　うり
ひゆうぐんのちく〳〵も〳〵　続どやく　負やアく「ヲヒ
法はさん丹なせくアノ新を京ぐ〳〵ろうとんさう
つくひろゆうそよタりもろう絵人でえうぐたろう
「ホンニそもぐモしこまへへろ〳〵ぐ孫もや「ハイそろうぐ
只又ろうちやのぐ方又どやろうる孫「ヲヒトトしく
ぬハそんあよやとろくろうる又出町ぐ〳〵と

ろうくやろうよあをあぜモしこ久人二孫ぐ又ろうぐ
つんでえんなかやせそそくくく

戸の辺ちらふとことじやうるさいてこそぐ有まて
ムりも後へむしいた
むしろやき後と かめろ しろ 更ハ
ちそもようこそ 獣子 赤ろ 絲ど
そまそうも 注来とれ ろ けやくさ けるあこうさ
ありく おそぶりくろト 益者のはろう 如此成へ サろく
思えりし思いるん お出のこと 翻 重 重 赤ろ ろの 考
こねろうそらとあそろぶ 赤 めろう もあい 赤ぶ 元 ぶり

ものゝ仕ちゑ秘人を惑はす事ゝの事なるべし
あるも八卦あるも八卦どつちやでも思ひ
ひ様
六爻のうらなるもぢうん遠いそこぢぬ
まゝ 絲ナレトハ八おつゝぐあると百姓ちうの
ちうもまを絲ゝうゆもなぐさまるゝ
おりゝく 絲モレうちぐ星をとりそうんなせ トナちゝ
あやや絲ゝのうちをとうあるゝ出せうゝ
めゝをとうんあをるくちゝゝ「八ゝもいおまん
ちゝゆゝもあんちゝゝ仕合ゝぐけるゝのるゝ

ゆゝさゝちゝゝゝあゝうゝがあゝゝゝ「そゝやあゝ
ぞゝゝの卦ゝ坤の卦坤ゝちんゝゝの「居ゝゝちゝ
物殺ゝゝゝん滅ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
と見ゝくまゝゝ中コリヤ春めゝゝくゝゝゝゝゝゝ「
変卦い乾の卦乾るけんけまゝゝの卦の卦ん
変卦の乾と合ゝゝちまゝゝ考ゝゝゝゝゝ易ゝ曰乾坤
ふゝゝのあゝぐゝとめゝゝ離の卦ゝゝゝゝゝゝゝゝ
教ゝゝゝあゝゝゝ中ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ売淡地ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

をつけうくゞそどざりまうも
そよいあうけどやア強くもみろちのよふぐらま
どうぜんざうの成延表のうるん　イヤそうそで
あうるも八卦あうしぬも八卦やまうなせんナ六
又うぐ半そうそ　とんぐいしうぐ　とおうぐうをおこゆやうぐうそや
ぐうさそうの曲輪を寛永年中よりでゆうく
清兵衛あり田南をひうくうそ彩る町を建ぐうう
彩早とうんで扇の要石をせううぐむうう

今又動るまでさんど申うつふだうなく表例の六ま
うせうるものうむをうぐううびぐうふあうびぐう
とまぐくうう兵部　そまうの後藤町
とあ一屋敷の油ひくくと買うう奥どゆくまた
ぐうく九彩町ふうまた　モうくこうがうう揚屋
どやうるふ一あう紙ごてくそあう屋くわうぐたうく
ううどやくおまへうふそうくお出あうまとうをぐんうんうう
まうをあうそたそんひうくうとうそうくうとうう
いまるうのおいもまちのううちやうあうあをおうりうう子門

あまびたを手紙とりもち来りて
ゆくてのうちをくまなくとうろうをあてて
ちらりまーこりやく　仲おども此繁昌やうへ
おとりあてまませ　そんあらゆるコウ
小八来稼へうかどぐちよりたてごうつく花屋の柳じやア
あらうへーたーコリヤでけまーこーサア　お出ト玄関あ
ぐらいーろもくーえてゆくやどよごろとおくざーこさのくるぬ
なるおはあんえをとたを手紙をこまとをたんふうよ
りてるーてうろうまをたーこうを使あを　えへをめでぐうま
ちやたをこぐんとりもち出るうちを　ぐうまを
をひいうこうふてもみぐこふこぐうまを　ぐうまを

さんうろうちーアあ今度ひうう仕入よりやりゆーこ
ぐひ南振いたをめてぐ　ぐうやを振いたをめてぐ　ぐうふせ
えびくめへやせうーうおうめをやをそのうう
うちーアちんと来てもをこぐつふてこいき
らぐうーうぐきへの一粒ふてかよ安きう
ろうこうーてあうーうをいうーうを来ぬうーこ
ちーー生ぬぐ夷ーうふりのぐうをぐめうーをふい
いうやせめふうーくマアをを青いお人のうーでもけ

大坂
新町
志文
庄中
の景

ゆとあがりよまけくとんあるへハテあしのまあとうら
ノウ左平ヒさん「さやうく」ゆいてまちて表あ
おもあるとまておくとびとでもあるうまんマアとあるハ
あまとさんどと撥くはちうどて洲浜ひとうあうくふ
ゆうあるがようどざうまちよハテまとあまの表く
おとかゆいてまちやようハトうとあるとあ左平ヒふとうとあ今
あとその百姓どういふてハつるちばハせこゆがうとう
うちハあまとなくと吹おまちのしあるやがてばおりん金安ん
あれとも今ちうこのまとうもうちうまどちうと一ばの松いうとう
のまをてつとてうるうくさんやうこのいふとうあり

とうとうとうくた「そうくうう仲居庵左平さんどと
マアうよやうんせ「ハイかしこまりと」とうとゆくけ門
あいてうのうはくあるとうとうりどしうとうとうと

はるばるくいやあるさこのなかまの「コリヤ〳〵こへどもがあんた
うゝおろよ踊どもおどりたのサノ三味ゝ〳〵ごろ〳〵なれん
トヤ内ぬ人ゝろ〳〵もめぐひとうふあの耳を半しそしろを横
ちゝゝゝゝゝゝゝを半〳〵ゝけづゝ〳〵ちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝトガのこが「トヲチテ〳〵ぬ「コリヨ人コリヨ人コリ〳〵
さゝゝやん
りちこんゝゝコヨツチヨレ三味「トヲチテ〳〵ゝ「ちゆゆお
乗女ハちゆ女の山の古狐乗女ちるゝよあまゝんだまく
まちやちゝまちやコリヨ〳〵コリヨ人コリ〳〵ゝちゝん
せどゝあやゆ屋ゝけ乗女ゝだんそ〳〵だゝゝのばゝゝん

だゝぶゝ〳〵極よ屋こゝゝゝく〳〵ちゝ後へゝゝ後へだゝゝゝ
ちまゝゝこゝゝゝちゝのけさいコヨツチヨレトヲチテ〳〵
「ヤンヤでけまゝ〳〵ち「アゝぶゝゝ外ゝゝゝゝゝゝ
おつゝ〳〵こへどりのちゆんちあよゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
おゝゝゝ〳〵ゝゝこ「ヲゝ〳〵ゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝんゝこゝゝゝあ「なゝゝゝ「ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
のアノかゝゝるまゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
白眼
孫ゝんでゝゝゝゝゝゝあ「イヤゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

どりの新しうおまの味噌あんどや 綴 そうどりの撰
さうさせるゆうるぶつそう味噌 併頂
ぞこいどをそうはけんぞへば 上りうそのかむぞうそうそ
三あのぐるを仲 「コレイ ナアおまんさんそのこあんでお後
のぐもりうめ
そうちよをぞのるそうる 「コリヤ 赤ぶうぶ 潤法 ナレト
こうりうこまちようるどみ中 おぞうこうぐ赤ぶんで
そうくさうんそうこうりうこう新見くあうこのの例の
ふかくふくかあくこうをうくくあぞいどでこうま

そぞへるお 「あんどや 新見とりあい売あろのことどや
るこあいこいどをのうまじやとおまへあうあうあるよ
向つくあんぐへおろいことめうつくこうぞいりのうばく
ふうどもみ中つくくまうぞ トはれ人ぞこうち上人とうえくく
こうるもつきのけくぐひうくうこうこうるくく
おへくこのきを三ふまうのうをうまそこ大ものうらか中 仲のへつこく
きをうぐ赤るまうこうこうる 赤 「ヲ赤ぶんどおまんさん
めじやへる 仲の 「今 おくうを赤ちをうこうこうむこう
ここくじやこうる変 「おまんさんもママうちや 洲濱

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おあそびあそばすがようございますよ／ナゼそんなに夜でもつ
どやア後へ／ハテマアコレきづのよしておくなされ
トんつまりつあるゆへこれきりなる／そんなら酒でも
する後へ／りくえんちゃのみさうぐるこんいた／イヤそ
れ／中こうーやせう／仲の／ざのことえんいた／イヤそ
まもこんのおまえどやさんやこけくそて酒ゲう
どやアそどやこう後へ／ゆそ味ゆうやアそのうちくこの
ぐどやア後へ／仲の／あんのまあすア／おひろうお上り
あそこセ主こ三おそそりおこうあませんこうな／ト仲のぐも

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いるゆ「十二十のどくしんおまづこるコリヤまくうがん人トお
のまぐあそびまるくしんちくどきぐらぐきそくうあくしときうおくを
とくしくつぐときゆハこのありあのひぐとちくしんくはやくと
まるあ「ヲくいくとのくくだくくうむちるくとそくしだくうゆくしけくまな
ゆくあ「ヲくせくしおくものどくあくといくくくこくるかなるあ
「めくくそのるまくをつけくんくくぶくくくんこうるああくぎを
くくくかくるくうくくくさくくのかくくくのいくくんばく
りのどゆちゆくくくくくあぐゆくくくはあくくあげくんせ
ゆあ「ホンニざくくをくあくくくくくんどゆくうかあぐるあくを

トまくくくめぐくをくふくくまるゆハをくしくまるのをくくをゆ「イヤあの
おるゆくくうくぐくをめくくくていくくくくくくくくくるのをくくをのけ
らくんぐをとくくくくくコリヤゆくんのあぐんぐくくくくくくくくく

「ハテ　そちらとでもあとぐそえんづいちやァソレこんん
おやァ　孫く　仲庵　完　を　米　たぐらうざらとつゆみ　洗
して　用　くえん　仲わ「ハテ　サァ　おぬぎ　あまセ「ハテ
赦　あさけ　あいてをいみりかうんらるる　トいろくいなま
まいとを　ぬ　ぬぐ　ふうして　おびとき　ひりよめ　ぐせ　おを
おぐ　ちん　女　のきまの　そを　ちんさくゆきあ　ぐ　おを
くさんと　わハ　あ　ほとちぐめて　孫「ヨヤ　くよあくあんざ　女　の　ぎ　ね
ちうぐを　を　る　孫　ぎ　ま　ぎ「ヨヤ
とをそあるろ　わ「ヨ　ん　ざ　を　ら　ふ　り　ま　く　ひ　ら　孫　ぐ

をくてあるく孫く　とぐ　わ　く　ち　ぐ　ま　ん　ら　の　た「おさひうろ　孫
あぐうあをを　わ「孫　さん　を　を　ぐ　と　ら　く　ら　ん　る「ナゼ　孫
よめくもと　延　を　を　ら　わ　ら　孫　く　ら　そ　を　あ　る　と　ら　ゆ　る
わ「いまくくいおめくまをげおいくをたをるるせるるうら　ト　ひ　や
るうあうの孫のうくーをまめとあくるひ　仲庵「サァ　く　十　の　じ　ら　よ
大ふりて千あぐくるとりちををうう
ござをまをそまるヲおくくそちやいんるあるをのその
なりハ　ゆぐぐおまをぞるヲふくくト　ひ　せ　を　を　ぐ　ば「ヨ　や
うめくハさろををくくおまぐ　わハ　ひ　ろ　を　を　ぐ　ば「ヨ　や
をぐぐちてぬりやァ十の

ぶのたんのとおりふ蒔絵をほどこしあぐさしきの
ふちやアがるがたんでおりぶ十の字どそまとぬら
せく（トゆがるあらりまるこみ絵ちゆ「ワイてんぐうるいみを
うる仲ねどもるなとそ）
のどやさうへあらそあらるみゆーしうかんみんしてお
くまあ手せ「イヤおくまあもそめくたんでそその十
のどれうけをうう絵へうちいろ筋があら絵へいた「ハテ
ゑいうるそるんふおまん振ちくどやといんまのそれ
のお侍のうあそ辞じやでくく「ハテめーのちうさ

とどやア絵へぶちんでそさんまへでも形ちを絵へサア
あんむうめ〜十のどさアあんのうさめうせく（トロめさ
ちうをを絵へうちいろにうめそもさけそんみく一
ううふがそんせそせへく十のどのうけをううねだりゆううん
あうあうあのうあ手ちいるもちあんた「コ」く仲あちあるる
どううふるの上いろんううあしうそ
いまあうちちゆるりのをちうそうダあん十のどのうといえん
しうぶゑいうんの仲あ「そどやてくをんがまあやうそく
めうせ仲「いあうう又おううううちなまをしやあろ絵
「ううううそそううちぶ呑也でおううう人参照しふ

いろく　ちゑんる　ゑん　おいつ　めぐ　ふろ　てん　ゆうぐの
仲ぬ　さよな　いめて　のける　ぞん　アチ十　のじ　ふ　まじや
ゑいる　トゆ　ゆ　ぬ　おさ　ゑる　そ　ろ　の　孫　「ラやく　あんで　は
ゑ　ろ　ゑ　ゑ　ゑ

十の字乃志ゝ
偽ゝ志ゝの
かく新奥しつく也町さ
くいそぎろ

清盛公五十二段九位屈官下終